令和4年度高知県福祉·介護就労環境改善推進事業 e-ラーニング研修受講手順マニュアル

目次

P2
P3
P4

E-ラーニング動画受講の申し込みから受講まで

高知家まるごとノーリフティングホームページ内より、お申込みが可能です。 https://kochi-no-liftingcare.jp/

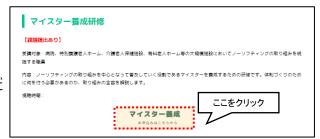
①TOPページよりお知らせページの「研修情報」をクリック

高知家まるごとノーリフティングページのお知らせ欄にある『**屋 R4 e-ラーニング研修のお申込みはこちら■** 『 をクリック。



②受講したい研修のバナーをクリック

それぞれのフォームから、受講者の情報を入力していただ き、申し込み。



③後日事務局より研修に関する資料をお送りいたします。

研修申込者へ①**研修動画URL、②資料URL、③こちらのマニュアル資料URL、④課題(マイスター受講者のみ)**をお送りします。

※受講者名、人数の管理のために受講者は基本的に1名ずつのお申し込みとさせていただきます。

職員間での動画URL及びパスワードの共有は原則禁止といたします。

4 資料をダウンロードして、動画を視聴

- ③に添付の資料をダウンロードし、動画URLより動画視聴を行ってください。
- ※動画はR4年2月28日まで何度でも視聴可能です。

研修受講後の提出課題につきまして

マイスター養成研修を受講された方は、提出課題があります。受講後2ヶ月を目途にデータをメールに添付していただき、提出をお願いいたします。

①マイスター養成研修の提出課題

マイスター養成研修各種を受講された方は研修

資料①「ノーリフティングケア導入後の 目標とする組織の状態シート」

資料②「計画シート」

資料③「提出課題表紙」

計3部をメールにてご提出ください。

※課題提出があるのはマイスター養成研修のみです※

尚、資料①は全ての項目が「①不十分だが実践している」の状態であり、計画実施内容に問題がなければ、マイスター養成研修修了証を高知県よりお送りいたします。



資料① 目標とする組織の状態シート



資料② 計画シート



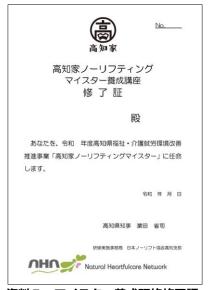
資料③ 提出課題表紙

ノーリフティング実践施設となるためには

高知家まるごとノーリフティングサイトでは、ノーリフティング実践施設を紹介しています。 腰痛予防のリーダーとなるマイスター研修の修了者が存在し組織的な腰痛予防の取り組みが できているかが評価のポイントとなります。

①マイスター修了者が在籍している

令和元年度より実施されているマイスター養成研修において、課題を提出され、修了証が発行されている職員が 在籍していることが必須条件となります。



資料① マイスター養成研修修了証

②目標となる状態シートでの判定

ノーリフティング導入後の目標となる組織の状態シートにおいて、全ての項目が「1、不十分だが実践している」の状態以上である必要があります。

また、マイスター養成研修を受講後、修了証が送られ、 腰痛予防マイスター在籍する施設は**優良事例施設の審査 にお申込みをいただくことが可能です。**

優良事例は年度末のフォーラムにて発表及び表彰式が行われ、優良施設に選ばれた事業所は、表彰及び、高知家まるごとノーリフティングサイト内にて、取り組み内容や施設情報を掲載させていただきます。

************************************					マイスター教成団郎 資料①	
性化	が「1」以上被で取り着むことが必要です。 国際家					
	路級也 に左欄にく、施設で実践後、その時の状態にあ	Sec. / / #100 (- 20.5.)	WI TENNI TO	recent o		
項目	に生物にす、回接で美術院、その何の60回にあ	の実施していない	1.ボー分でが 東京している	2,885,7118	3点の限く 実施できている	
0610		ORBUCTOR	発出している	23000000	東部できている	
wws	ノーリフティングの対象を含むための間の扱いであり、包 信名の学のも、他主上リケアの中のシリケ・不会を引き 各体に起さめるを建設は、随他と対象者をごを扱なから わけてはいけないことを哲能しておりがおしてどがあった。 ブールを表しているとなった。 ブールを表しているとなった。 ブールを表しているとなった。 「他のでは、「サール・アール・アール・アール・アール・アール・アール・アール・アール・アール・ア		_	_	-	
		管理者が取り組みを 認めていない。また は管理者は関与でき ていない。	管理者が活動を認 めてはいるが、発 らてきていない。	管理者合うが必要 性を感じ個及促進 に向けて行動して いる。	管理者合うがノーリ フティング部及推進 リーダーとしての役 制を果たしている。	
推進チームの 存在	経験においてノーリフティング告復選するとかには、総職 で扱いられた降機を突対策を進き、ムの存在が開発となっ なす、マスウメンテームとして研究していることがない であり、そのチームメンバーは、地話マネージャー、協議 の情報推定的は、国際国は、信用を担定し、他報報で 分)、億円ケースフランニングであ、毎年税乗令人計算・ 程度であるとからの、ための途かが確定、別は機能し ていることが単志がれます。	委員会・チームの立 ち上げが駆めらてい ない。	チームはあるが、 経境内で認められ たものではない。	総権内で認められ た責責会・チーム があり、結構の体 制づくりやリスク の解決に向けて活 動している。	書商会があり、定職 会な会議が開催され、結構全体のリス のできジェントを実 ましている。安全 主要員会と連携して いる。	
	ケアのコなく、すべての作業において各体的条件。リスク					
リスクマネジ メント	の基本の報告的という。このが確立で、職会の分とや リスタンはして確認を実施されている。までも、大学 リスタンはして確認を対象が発達者デームが明まり、対策や 重な同か一計画をいる一条映画を行めて一等のを表す まて他し、音楽が多していく、このリスクマネクメント 中継ができていることが書きて、この他のから知る 造し、経緯が効果を重視まを手向よさせることが表がっ 力にます。	リスクマネジメント はできていない。	リスク維出 (職員 からのビヤリハット、チームでのリ スク神になど) ひ しているが、計画 立章から実践、計 他、改善などの対 応が不十分である	リスク地田 (職員 からのヒヤリハット、チームでのリを 人の特性など)を 人の特性などのを 人の事故な事から 実践、評価、改善 などが実践できて いる	2の体制で取り組みができており、さ うに日々、関係から ちピヤリ・ハットの もピヤリ・ハットの 機関的に出され、労 策安全衛生水準が軽 報とともに向上して いる	
施品の 健康管理	福展一人ひとりの確康を守り、推察子的を実践するために は、整理の経験を構立している。 では、 では、 では のでは のでは のでは のでは のでは のでは のでは のでは のでは	機長の運 <mark>構予的のための設金や対策は特</mark> としていない。	様体調査はしているが定期的には実 施できておらず、 リスク者への対策 もできていない。	定期的に腫瘍関連 をし、リスクのあ る機員への対応ち している。	2の状態にあり、か つ、新入場員に対記 面側に実施してい る。通信は減少、ま たは悪化が見られな くなっている。	
対象者の アセスメント プランニング	すべての経験和にノーリファッシウの相談を与ってブラッ ニングすることが必要でき、アセスメント・フランニング 田内のは「個別・フランとングを出り出ることがあ はないようなことがあった。 セスジト・ブランニングし、これなどの記憶を付めて セスジト・ブランニングし、これなどの記憶を持ちました。 では多いでは、アンスに対したがあった。 まな、ロッファッシングとは、そのでは、まなどので をなった。そのでは、そのでは、そのでは、そのでは、 ことがよった。	ノーリフティングの 物をを持ったアセス メント・ブランニッ グの放打や組治など 体配ができておらず 実施していない。	ノーリフティング の残点も考めたり なスメンてブラミは びし、クアをが、 できている選択 を主に同知識ができ てない。	アセスメント・ブラン こっかの設力は体制と して発展されている。 内容もメーリファン かの場合にアセスメン ト・ブランニングさ れ、用な場面を持一し たケアが実施されてい る。	る。かつ日々の中で リスクがあればすぐ にケアの何直しが行 われる体制がある。 ケアの手法はケアフ	
3	安らして飛ける極度づくりに向けてノーリフティングを実					
MAKE	はするためには、毎兵一人ひとりが他のが必要性を理解		間角はノーリフ ディングケアの日 的や必要性を理解 しているが実践は また不十分であ る。	数解体制ができてお り、計画的に実現され ている。機能はプリック フティンプの信めやい 変性を理解して参考する を存在の表い方の決め うれたプアウタ展介さ を守り実施できてい る。	2 の状態にあり、新入園 異では配置記字様が実施 され、収録者にも定案的 チェックが行われている。 職務かまからがリス クを推出する記載が像に ついている。マニュアミ も内臓している。	
福祉用業の 導入	ての環境を整えることは困難でも、事業所にどのような相 異が必要なのかは把除し、導入計画が介集されているこ と、またリスク管理のためにも用品のお旨者を決めて管理					
		砂糖な用食が不足しており、導入予定も なく、リスクの高い 対象者も介護者一人 での助え上げをして いる。	用異は不足しているが、複数での介 板など代替文学段 で負担軽減で含て いる。導入の計画 は立事できていない。	GLY 450 C000	が難な用具はほぼ充 足しており、旧当に よる用臭の管理もで さている。身体的負 切のある西え上げ介 助はゼロになってい る。	

●マイスターの課題を提出いただいたのち、実践施設未登録施設者には実践施設登録シートをお送りしますので、登録をお願いいたします。尚、実践施設はまるごとノーリフティングサイトよりご確認いただけます。